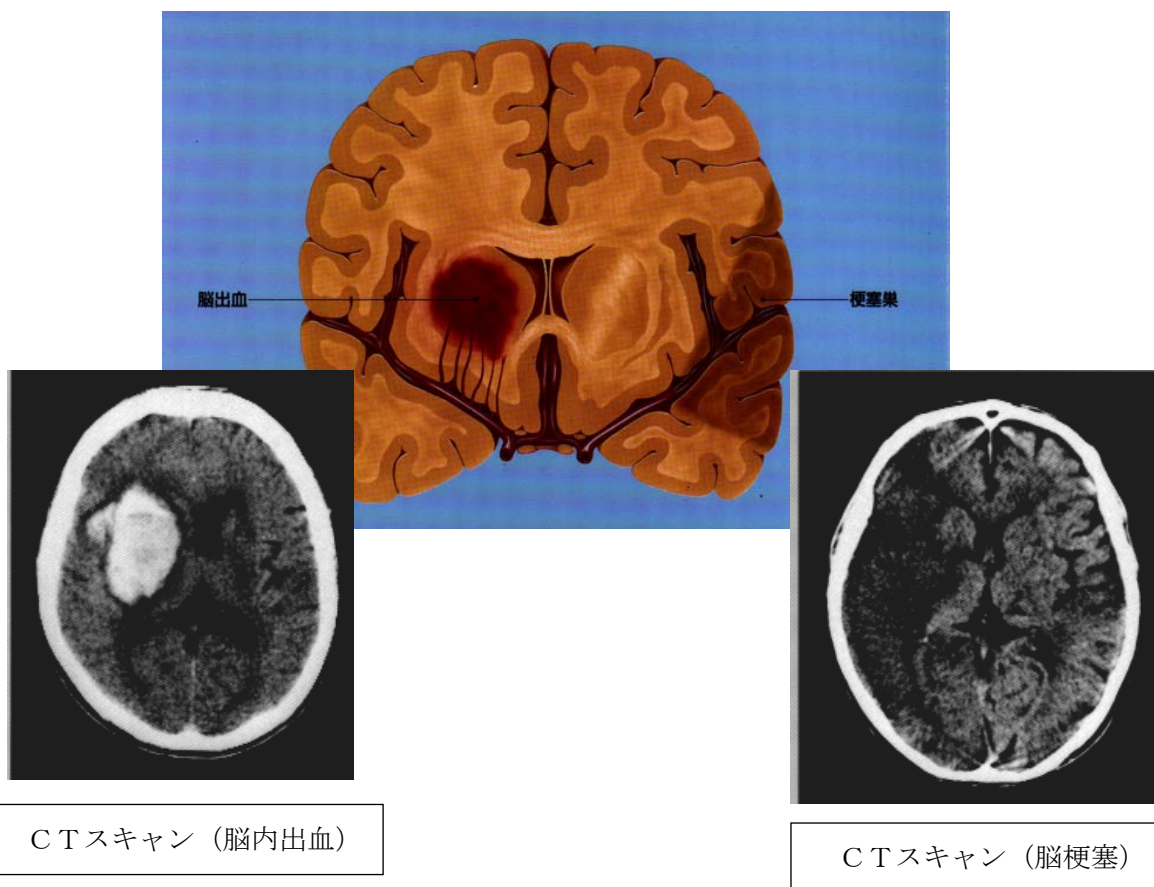


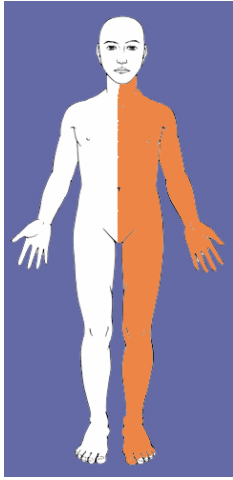
## 脳卒中（脳血管疾患）

あと、しびれとか麻痺が起こってくるのは、勿論脊髄だけではないんですね。僕たちがいつも臨床的に考えるのは、まず、全身の病気で起こってきているのか、局所の病気で起こってきているのか、ということです。

全身の病気で起こってきているというのは、一般的には内科的な病気ということですが、一番多いのは糖尿病ですね。糖尿病のような末梢神経障害が起こってくる。次に多いのは、アルコールによる神経障害ですね。あるいは甲状腺機能の低下症。これらは基本的には全身の病気ですので、左右対称に起こってくる。神経は長いほうがやられやすいので、脚の先の方とか手の先の方からやられてくる。ソックス&グローブ型、手袋とか靴下を履いたような場所にしびれとか感覚障害が起こってくる特徴があります。だからこのような分布のしびれを見たときには、全身の病気で起こってきたしびれを先ず考えます。

どうもこれは局所の病気らしいというときは、その分布を見ます。脳の病気はいろいろあります。脳腫瘍もありますし脳出血もあります。脳は反側支配ですので、例えば左側の脳がやられると、これは左半身ですから右側の脳がやられる。半身の麻痺、半身の感覚障害というような形になってきます。





右大脳半球の障害では、左半身の感覚障害が起きる。